

LINEMO はブラックでも契約できるのか？

LINEMO は、ソフトバンクが提供するオンライン専用の通信サービスで、独立系の格安 SIM とは異なる位置付けを持っています。このため、ソフトバンクやワイモバイルとブラックリスト情報が共有されていると思って間違いありません。

ソフトバンクやワイモバイルでの料金滞納や短期解約の履歴があると、LINEMO の契約審査が厳しくなることが予想されます。短期解約履歴が 180 日以内である場合、キャンペーンやキャッシュバックを目的とした短期契約の可能性が考えられるため、審査が通りにくくなる可能性が高まります。

また、過去の料金未納により「携帯ブラック」となっている場合や、金融機関のブラックリストに掲載されている場合、新規でのスマートフォン契約が難しくなるのは一般的です。

LINEMO の契約審査は、過去のキャリア履歴や金融機関のブラックリスト情報に大きく影響されるため、これらの履歴を持つ方は審査に落とされる確率が上がってしまうでしょう。

LINEMO の審査の特徴について

- 基本情報の入力のみでの審査
- 他のキャリアや格安 SIM との比較して審査が甘い？

LINEMO の審査は、他の大手キャリアとは異なり、オンライン上で完結します。具体的には、氏名、住所、支払い方法と免許証などの本人確認書類をアップロードするだけで、審査の手続きが進行します。ユーザーにとっては手間が少なく、スピーディーな審査が可能となっています。

基本情報の入力のみでの審査

LINEMO の契約申し込みはオンラインで行われ、基本的な情報の入力と本人確認書類の提出のみとなっています。

しかし、審査情報はソフトバンクと共有されており、過去にソフトバンクやワイモバイルで審査に通らなかった方は審査に落とされる確率が上がってしまいます。

他のキャリアや格安 SIM との比較して審査が甘い？

LINEMO は端末販売を行っていない SIM 契約のみになりますので、比較的審査は甘いと言えます。

ブラックリスト入りする多くの理由として、スマホ端末のセット契約を利用して短期解約する場合が主だからです。

LINEMO の審査で落ちる主な理由

- 短期解約の履歴
- 書類不備
- 料金の滞納
- 強制解約履歴
- 金融ブラックの存在

LINEMO の契約審査は、端末購入がないので比較的甘いと言われています。しかし、上記のような理由に該当してしまっていると審査に落とされている可能性も高まります。

以下に、LINEMO の審査で不利となる主な理由を詳しく解説します。

短期解約の履歴

短期間での解約履歴は、キャリアや格安 SIM の審査において大きなネガティブ要因となります。

LINEMO では PayPay によるキャッシュバックキャンペーンを常におこなっており、キャンペーンやキャッシュバックを受け取った後の短期解約は、信用リスクとして評価されるため審査においても不利となります。

書類不備

契約時に提出する本人確認書類に不備があると、審査に通らないことがあります。写真がぼやけている、身分証明書の有効期限切れ、提出書類の内容が申請情報と一致しないなどが審査の障壁となる要因です。

料金の滞納

過去に料金の滞納があると、それがブラックリストに記載されることがあります。特に、ソフトバンクの場合、最後の支払いから 90 日経過しても料金を支払わないと、強制解約となることが多いようです。

ソフトバンクやワイモバイルでそのような支払い事故を起こしている場合、情報が共有されている LINEMO でもまず審査通過は期待できません。

強制解約履歴

強制解約の履歴があると、その情報がブラックリストに記載されることがあります。

料金未払いや契約違反など重大な理由の場合、大手キャリア同士で情報が共有されるため、実際問題のあったキャリア以外でも契約を断られる場合があります。

また、[TCA\(一般社団法人 電気通信事業者協会\)](#)や [TELESA\(一般社団法人 テレコムサービス協会\)](#)に情報が残ると、その情報は 5 年間共有され続けるため、その期間中は新規契約が難しくなる可能性が高まります。

金融ブラックの存在

金融機関でのブラックリストに記載されている場合、キャリアや格安 SIM の審査にも影響を及ぼす可能性が高まります。しかし、クレジットカードの未払いなどで信用機関のブラックリスト入りしていても採用されるのは端末購入のときのみとされています。

審査の具体的な基準はブラックボックス化されていますが、信用情報に傷がついていたとしても SIM 契約のみの LINEMO なら契約できるのが一般的とされています。

LINEMO の審査を無事通過するための具体的な方法

LINEMO の審査を通過するためには、まず、過去の滞納履歴や強制解約の履歴をクリアにすることが基本です。また、契約時の書類提出には十分な注意を払い、不備や誤りがないようにすることも注意してください。

過去の滞納履歴の確認と対応

過去にソフトバンクやワイモバイルでのはもちろんのこと、他キャリアの料金滞納が LINEMO の審査に影響している可能性があります。

他キャリア間で情報共有されていると、LINEMO にかかわらず他のキャリアにおいても審査に通らない可能性が高いです。

まずは、滞納料金を速やかに支払い、もう一度審査を受けるようにしてください。

LINEMO で短期解約するとブラックリスト入りしてしまうのか？

LINEMO で短期解約するとブラックリスト入りしてしまうかどうかについて、LINEMO 側で明確な基準が示されていないため明言はできません。

ただし、LINEMO での半年間や1年間に及ぶ割引やキャッシュバックを行っていることから、恩恵を受けてすぐの解約は危険かもしれません。

短期解約の規準はソフトバンクに照らし合わせると180日 6ヶ月とされています。

一生ソフトバンク系のキャリアとは契約しないという覚悟なら短期解約しても良いかもしれませんが、今後何が起こるかわかりません。

正当な理由がある場合以外、特にキャッシュバックなどの恩恵を受け取った後すぐの短期解約はなるべく避けたいものです。

ブラックリスト喪明け後にはすぐ契約可能か？

ブラックリストからの喪明け後、再契約できるかどうかは各キャリアや格安 SIM の審査基準に大きく依存します。

一般的に、喪明け後は再審査を受けることで契約のチャンスが増えますが、再度の申し込みは審査が厳格になる傾向があります。

特に、過去の滞納や解約理由が重大であった場合、再契約のハードルは高くなってしまう可能性があります。

LINEMO と他社でのブラックに対する違い

各キャリアや格安 SIM は、ブラックリストの取り扱いや審査基準に違いがあります。そのため、一つのキャリアで契約が難しい場合でも、他のキャリアなら契約が可能な場合があります。

しかし、LINEMO・ワイモバイル・ソフトバンクの3社がそれぞれ顧客情報を共有しているように、ドコモとahamo、auとUQモバイル・Povoなど系列キャリア同士内では情報が共有されているため、系列キャリア内のどこかでブラックリスト入りしてしまうと、同列キャリア内での再契約はむずかしくなってしまうでしょう。

ソフトバンクではどうか？

ソフトバンクは、大手キャリアの中でも比較的審査が厳しいと言われています。特に、過去の滞納履歴や強制解約の履歴がある場合、審査に通りにくくなることが考えられます。

ワイモバイルではどうか？

ワイモバイルは、ソフトバンクグループの格安SIMブランドであり、ソフトバンクと同様の審査基準を持っています。

ワイモバイルでも格安端末の販売を行っており、端末を格安で購入しての短期解約についてはブラックリスト入りしてしまう可能性が高くなります。

ahamoではどうか？

ahamoは、NTTドコモが提供する格安SIMサービスです。ドコモのブラックリスト情報を参照する可能性がありますが、独立系の格安SIMと比較して審査が甘いとの声もあります。

UQモバイルではどうか？

UQモバイルは、KDDIグループの格安SIMブランドです。過去の滞納履歴や強制解約の履歴がある場合、審査に通りにくいと言われています。

LINMO や他社でブラックリストに入ってしまったら誰でもスマホがおすすめ

LINMO や他の通信サービスでブラックリストに載ってしまった方々にとって、誰でもスマホは大変おすすめのサービスです。

独自の審査基準により、ほとんどの方が契約できるためこれまでのブラックリスト履歴に左右されることなくスマホを持てるようになります。

コンビニ決済にも対応しているので、クレジットカードがないという方でも心配いりません。

誰でもスマホのメリットデメリットは以下

- プラン料金が割高(例: 3GB かけ放題 3,938 円、10GB かけ放題 6,248 円)
- 最新機種は購入できない
- 携帯ブラックの方でも契約できる
- クレジットカード不要(コンビニ払い or 口座振替)
- 契約期間の縛りなし
- 初めての方なら初期手数料 2 円から
- 端末セットも安い(ただし機種は古め)